

Ⅲ 結果の詳細

2. 質問紙調査

① 児童生徒質問紙調査

全国学力・学習状況調査結果チャート〔児童生徒〕（12ページ参照）において、それぞれの領域に該当する質問事項の中で特徴のみられるものを取り上げ分析した。

平成25年度調査結果を中心に、質問事項によっては経年変化や回答結果と正答率の関連及び散布図を活用した。

※文中の「肯定的回答」とは、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計である。

※文中の「同程度」は全国との差が±0.9ポイントの範囲内、「やや高い、やや低い」は全国との差が±1.0～4.9ポイントの範囲内、「高い、低い」は全国との差が±5.0～9.9ポイントの範囲内、「著しく高い、著しく低い」は全国との差が±10.0ポイント以上であることを表している。

※「平成25年度調査結果」「経年変化」のグラフは、「その他」「無回答」を除いて作成し、数値を四捨五入してあるため、割合の合計が100%にならない場合がある。

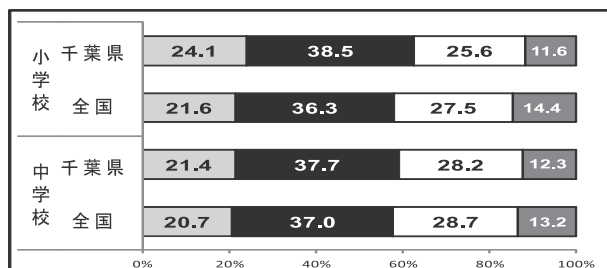
※「散布図」は、各都道府県の肯定的回答の割合について、小学校を横軸、中学校を縦軸に対応させ、○印で示したものである。（■は千葉県、▲は全国平均を示している。）

国語への関心等

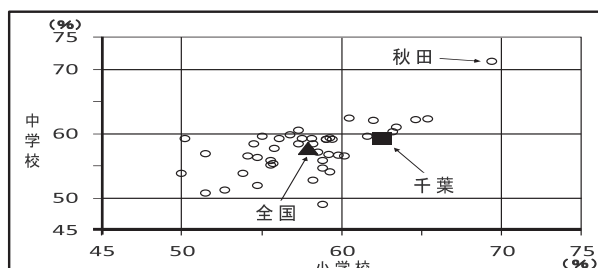
◇国語の勉強は好きですか

平成24、25年度における肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国を上回っており、国語への関心の高さは全国的に見て上位にある。今後、「当てはまる」と回答する児童生徒を増やすための具体的な手立てをさらに工夫していく必要がある。

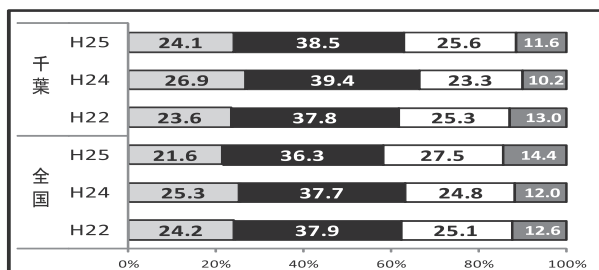
【平成25年度調査結果】



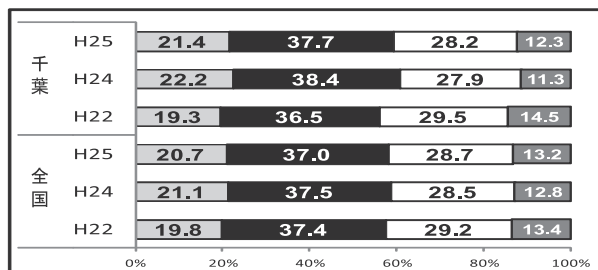
【散布図】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

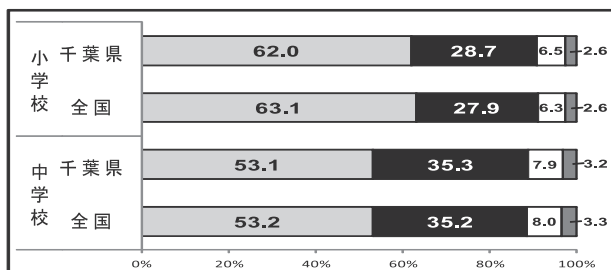


■ 当てはまる
 □ どちらかといえは、当てはまる
 □ どちらかといえは、当てはまらない
 ■ 当てはまらない

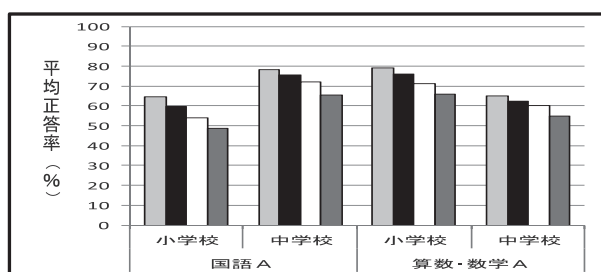
◇国語の勉強は大切だと思いますか

児童生徒ともに、肯定的回答の割合は全国と同様に高い。国語の勉強は大切だと思っている児童生徒ほど、「国語A」だけでなく「算数・数学A」においても正答率が高く、生徒よりも児童にその傾向が強くみられる。

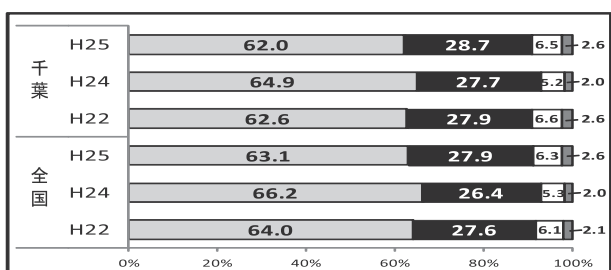
【平成25年度調査結果】



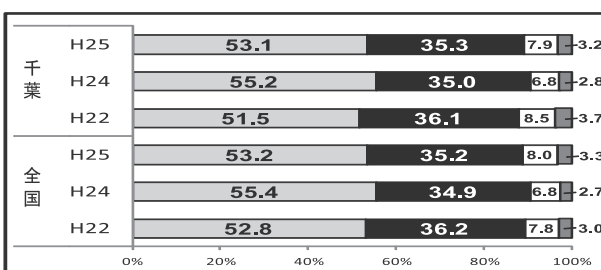
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

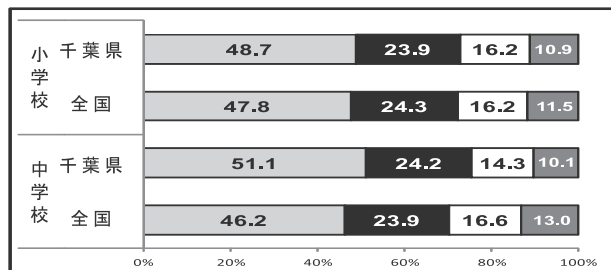


☐ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない

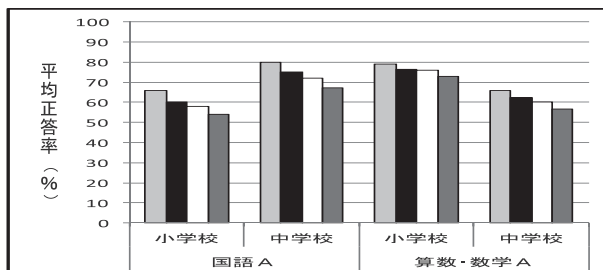
◇読書は好きですか

肯定的回答の割合は児童生徒ともに全国を上回っており、特に生徒については全国に比べて読書好きの割合が高い。読書が好きな児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられることから、今後も望ましい読書習慣を形成するための取組を継続する必要がある。

【平成25年度調査結果】



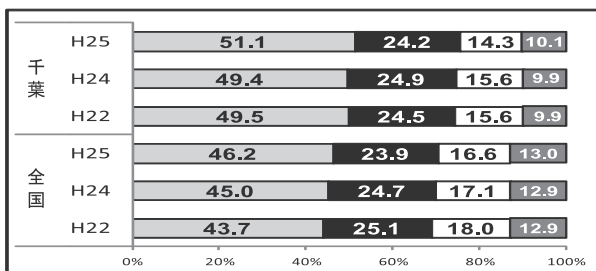
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】



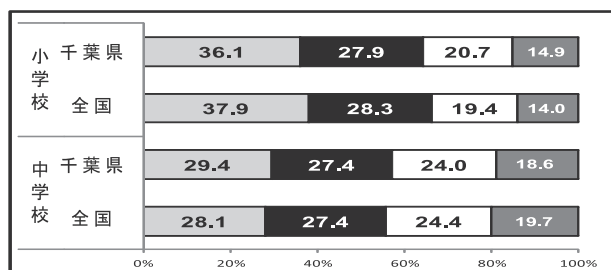
☐ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない

算数・数学への関心等

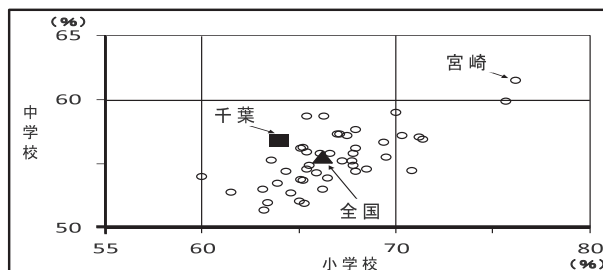
◇算数・数学の勉強は好きですか

算数が好きな児童の割合は全国と比べてやや低く、数学が好きな生徒の割合は全国と比べてやや高い。児童については全国的に見て下位に位置しており、今後、児童に対して算数への興味・関心を高めるための手立てをいっそう工夫していく必要がある。

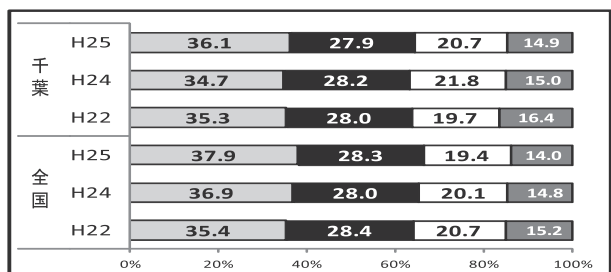
【平成25年度調査結果】



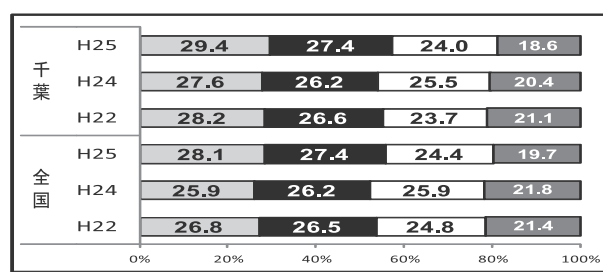
【散布図】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

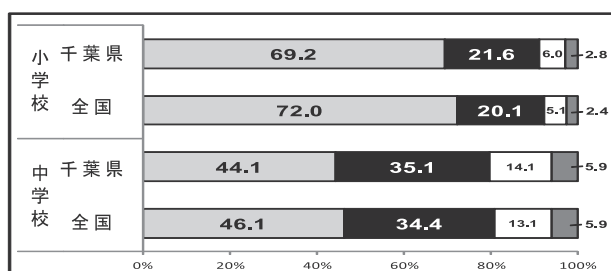


■ 当てはまる
 □ どちらかといえば、当てはまらない
 ■ どちらかといえば、当てはまる
 ■ 当てはまらない

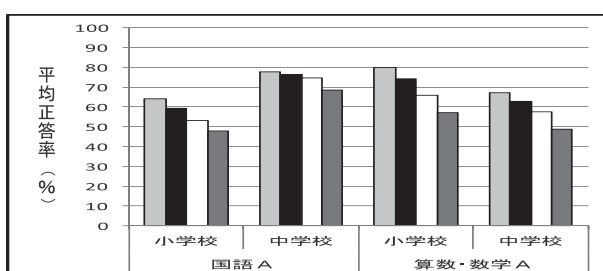
◇算数・数学の勉強は大切だと思いますか

児童生徒ともに、肯定的回答の割合が全国と比べてやや低い。算数・数学の勉強は大切だと思っている児童生徒ほど、「算数・数学A」だけでなく「国語A」においても正答率が高いことから、大切さを児童生徒が実感できるような授業実践が必要である。

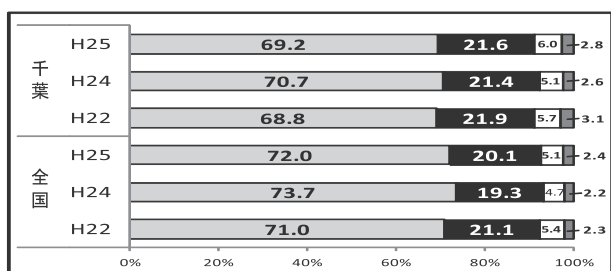
【平成25年度調査結果】



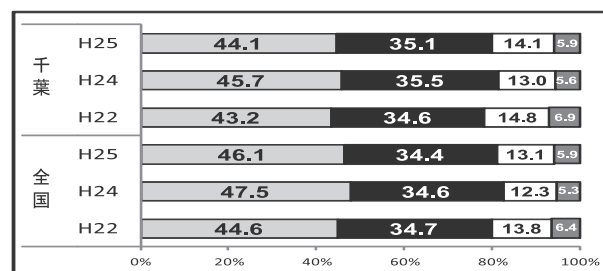
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】



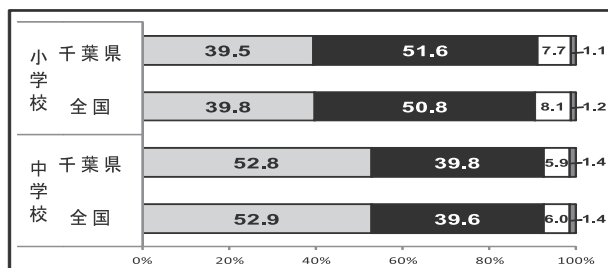
■ 当てはまる
 □ どちらかといえば、当てはまらない
 ■ どちらかといえば、当てはまる
 ■ 当てはまらない

規範意識

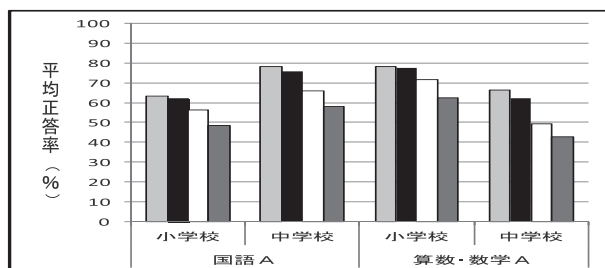
◇学校のきまり・規則を守っていますか

児童生徒ともに、肯定的回答の割合は全国と同程度であり、年々増加する傾向がみられる。きまり・規則を守る児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられることから、今後も学校生活における児童生徒のモラルを高めながら教育活動を展開する必要がある。

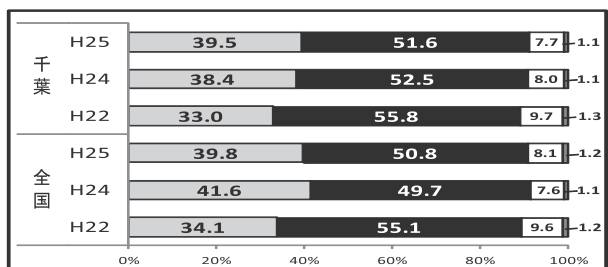
【平成25年度調査結果】



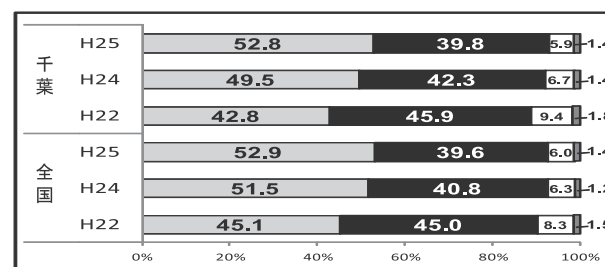
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

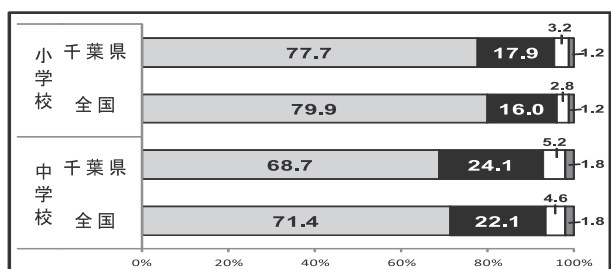


当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

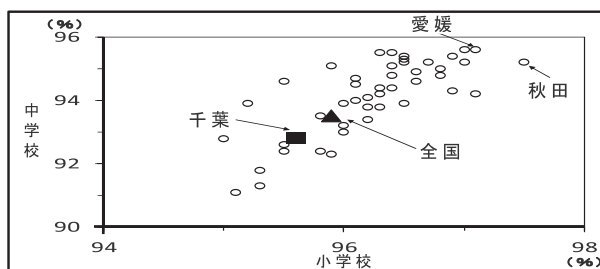
◇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

児童生徒ともに、肯定的回答の割合は全国と同程度である。平成22年度と比べて、「当てはまる」と回答した割合は、児童は4.3ポイント、生徒は10.0ポイント上昇し、いじめを否定する意識は高まりつつあることがうかがえる。

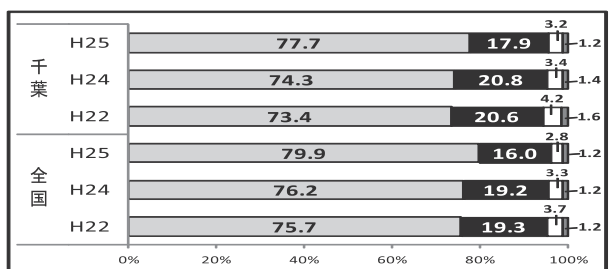
【平成25年度調査結果】



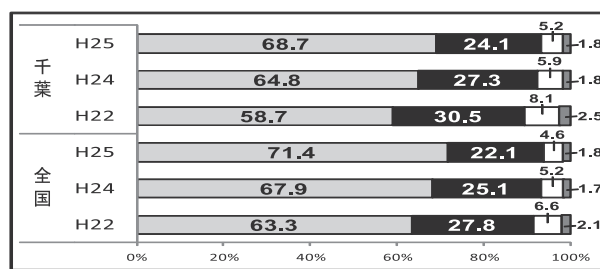
【散布図】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】



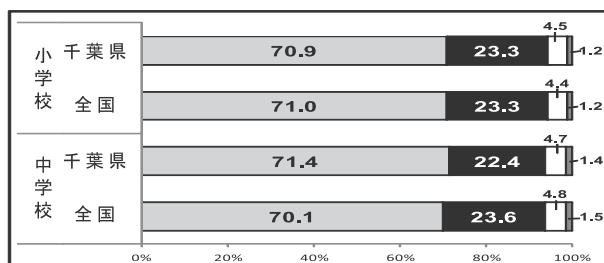
当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

自尊感情

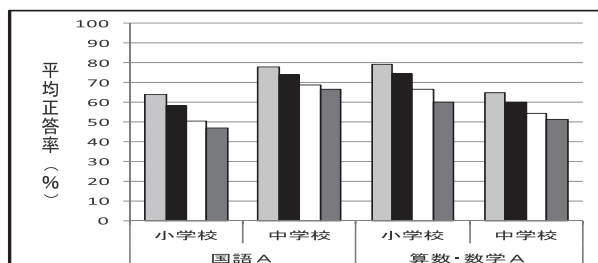
◇ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

児童生徒ともに、肯定的回答の割合は全国と同程度である。達成感を味わっている児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられることから、各学校において、児童生徒が達成感や成就感を味わえるような特色ある教育活動を展開していく必要がある。

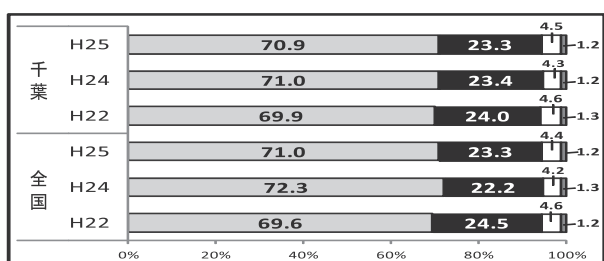
【平成25年度調査結果】



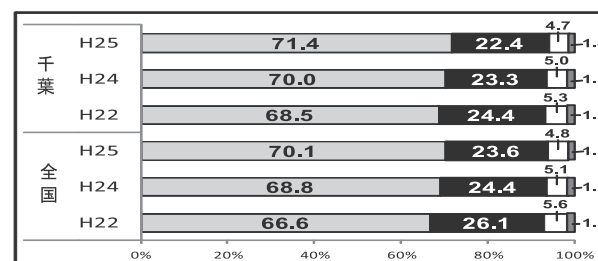
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

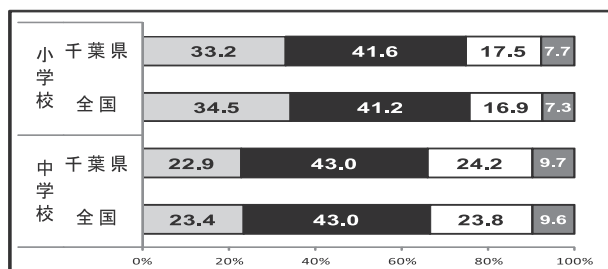


当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

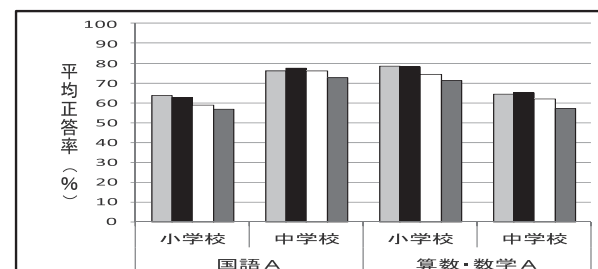
◇自分には、よいところがあると思いますか

児童生徒ともに、肯定的回答の割合は全国と同程度である。自分のよさを認識している児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられ、生徒より児童にその傾向が強く表れている。今後、発達段階を踏まえながら、生徒の自己肯定感の向上を図る必要がある。

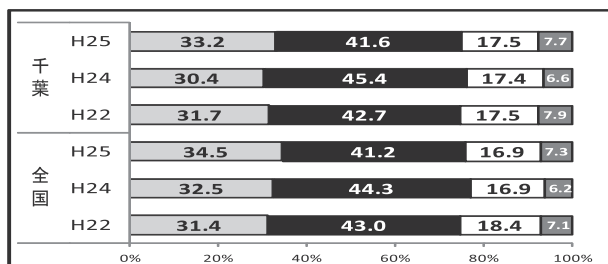
【平成25年度調査結果】



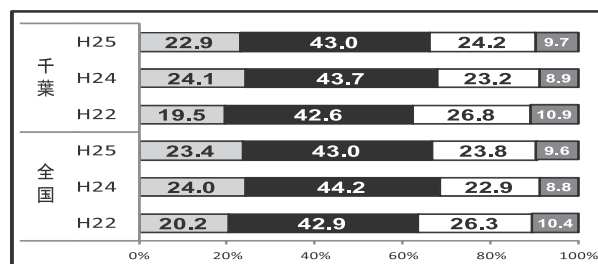
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】



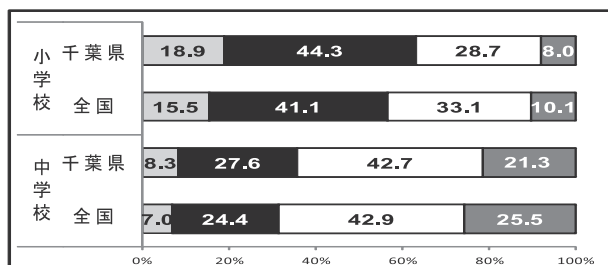
当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

言語活動・読解力

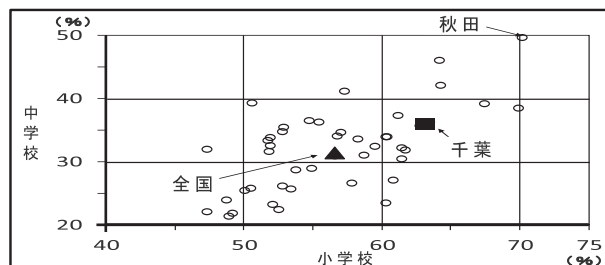
◇普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか

児童生徒ともに肯定的回答の割合が全国と比べて高く、グループで調べる活動をよく行っていると思っている児童生徒が多いことがわかる。生徒の肯定的回答の割合は児童に比べ低いが増加傾向にあり、さらに中学校でグループ活動の充実を図る必要がある。

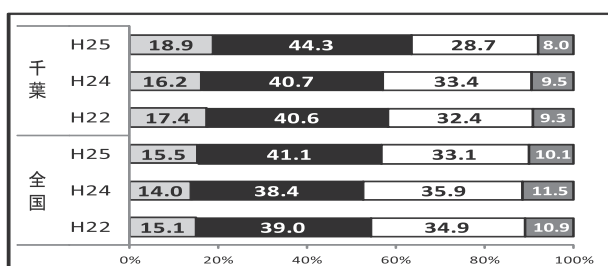
【平成25年度調査結果】



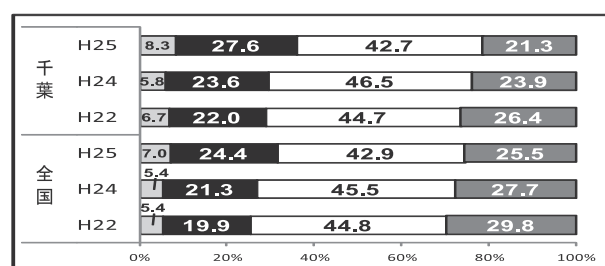
【散布図】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

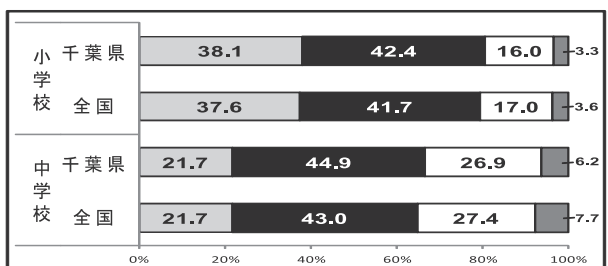


☐ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない

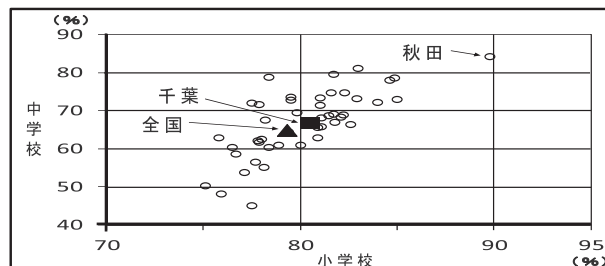
◇普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか

児童生徒ともに、肯定的回答の割合が全国と比べてやや高い。話し合い活動をよく行っていると思っている割合は生徒より児童のほうが高いが、生徒も増加傾向にあり平成22年度に比べ11.0ポイント上昇した。

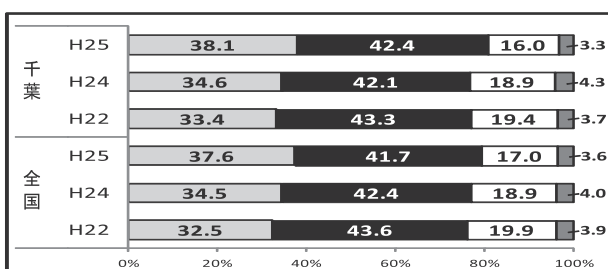
【平成25年度調査結果】



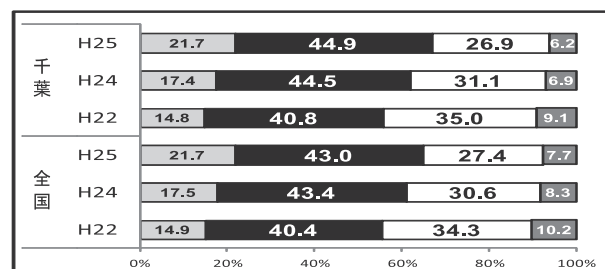
【散布図】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】



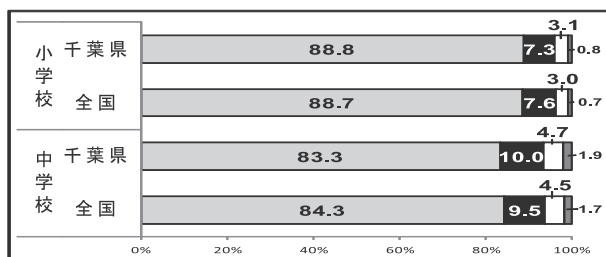
☐ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない

生活習慣

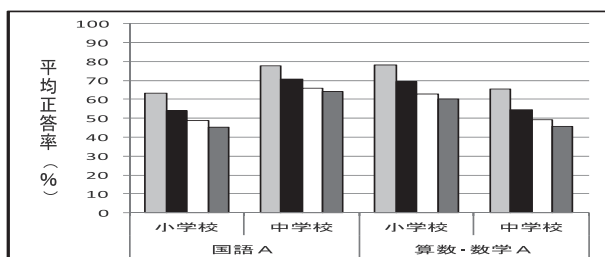
◇朝食を毎日食べていますか

平成 22 年度以降、児童生徒ともに肯定的回答の割合が 90%を超える状況である。朝食を毎日食べる児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられ、朝食をとることは、脳を活性化させたり、学習習慣の形成にも好影響を及ぼしていることが考えられる。

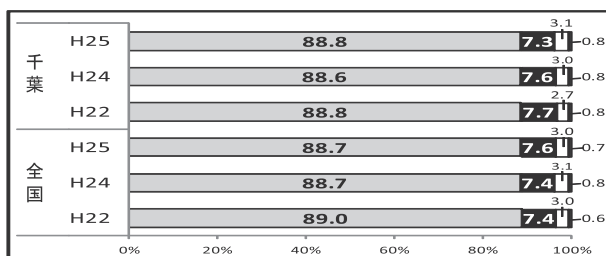
【平成 25 年度調査結果】



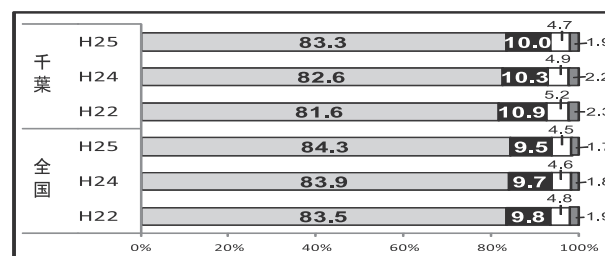
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】



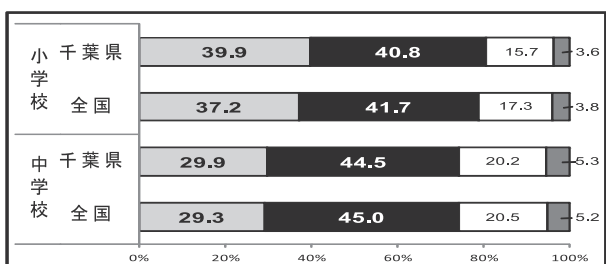
□している ■どちらかといえば、している □あまりしていない ■全くしていない

◇毎日、同じくらいの時刻に寝て（起きて）いますか

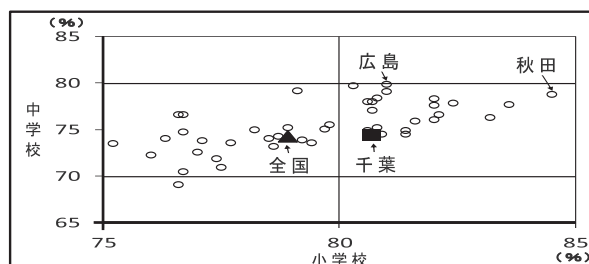
児童生徒ともに、肯定的回答の割合は全国と同程度である。全国的な傾向でもあるが、「同じくらいの時刻に寝る」割合より「同じくらいの時刻に起きる」割合のほうが高く、本県におけるその差は、児童が 10.8 ポイント、生徒が 18.2 ポイントである。

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

【平成 25 年度調査結果】



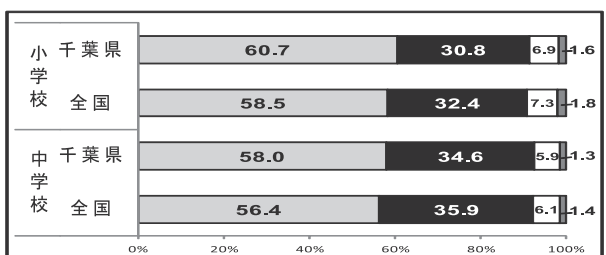
【散布図】



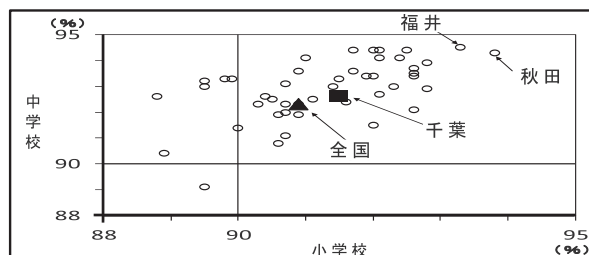
□している ■どちらかといえば、している □あまりしていない ■全くしていない

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

【平成 25 年度調査結果】



【散布図】

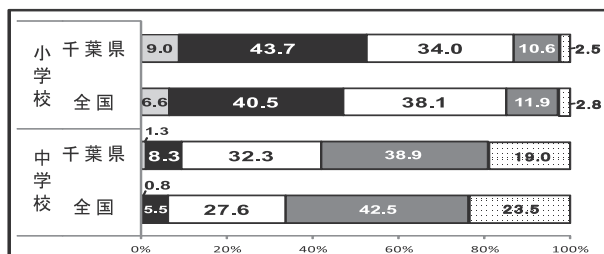


□している ■どちらかといえば、している □あまりしていない ■全くしていない

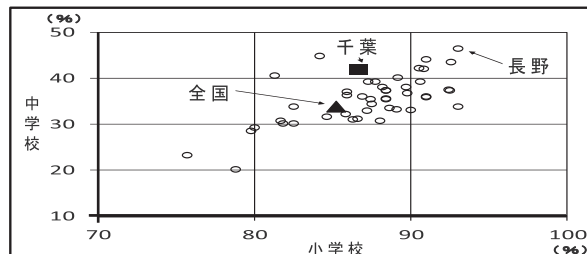
◇普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか

普段、午後１１時より前に寝る児童の割合は 86.7%，生徒の割合は 41.9%であり，全国と比べて，児童は 1.5 ポイント高く，生徒は 8.0 ポイント高い。本県の児童生徒は，全国と比べて「早寝」の傾向が強いことがうかがえる。

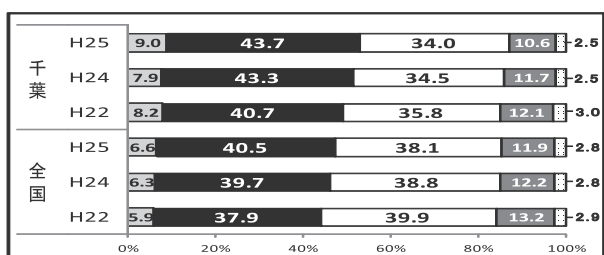
【平成２５年度調査結果】



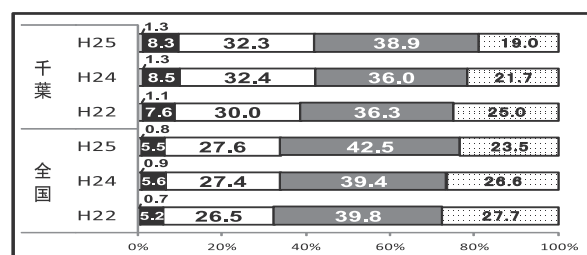
【散布図】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

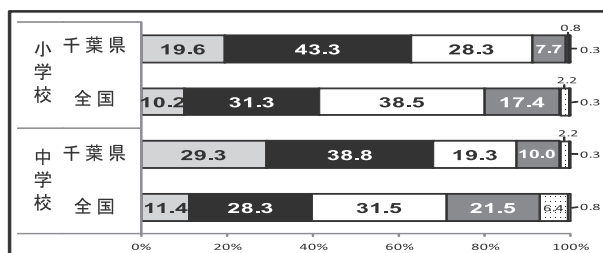


□ 午後９時より前
 ■ 午後９時以降、午後１０時より前
 □ 午後１０時以降、午後１１時より前
 ■ 午後１１時以降、午前０時より前
 □ 午前０時以降

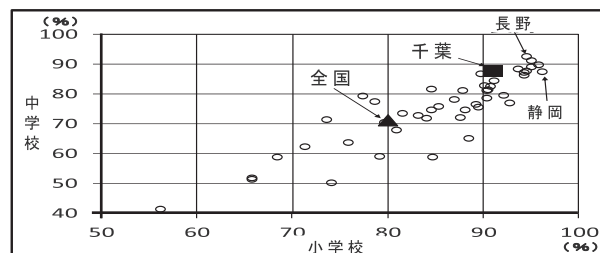
◇普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか

普段、午前７時より前に起きる児童の割合は 91.2%，生徒の割合は 87.4%であり，全国と比べて，児童は 11.2 ポイント高く，生徒は 16.2 ポイント高い。全国を大きく上回る状況が続いており，児童生徒ともに全国と比べて「早起き」の傾向が強い。

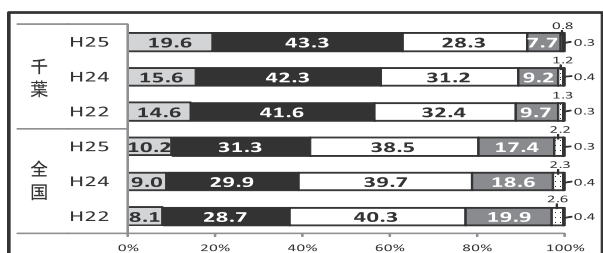
【平成２５年度調査結果】



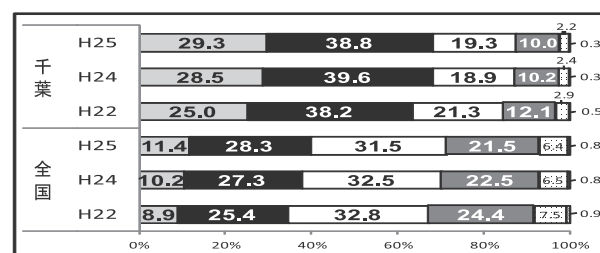
【散布図】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

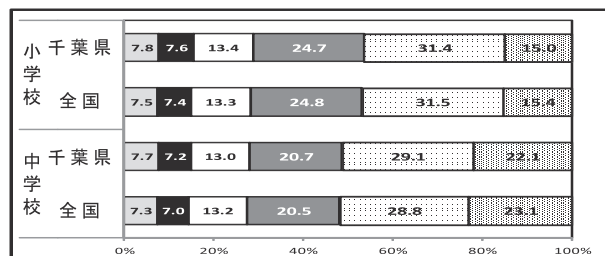


□ 午前６時より前
 ■ 午前６時以降、午前６時３０分より前
 □ 午前６時３０分以降、午前７時より前
 ■ 午前７時以降、午前７時３０分より前
 □ 午前７時３０分以降、午前８時より前
 ■ 午前８時以降

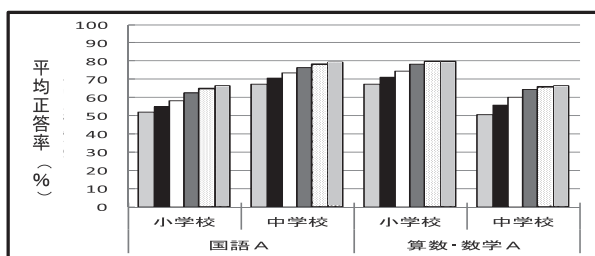
◇普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム含む）をしますか

１日当たり１時間以上テレビゲームをする児童生徒の割合は，全国と同程度である。ゲームをする時間が長い児童生徒ほど正答率が低い傾向がみられ，ゲームの普及や集団遊びの減少など，生活環境の変化が学力低下の一因となっていることがうかがえる。

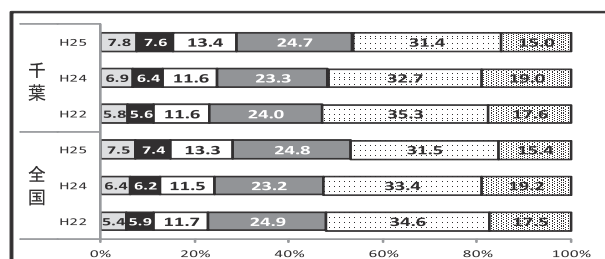
【平成２５年度調査結果】



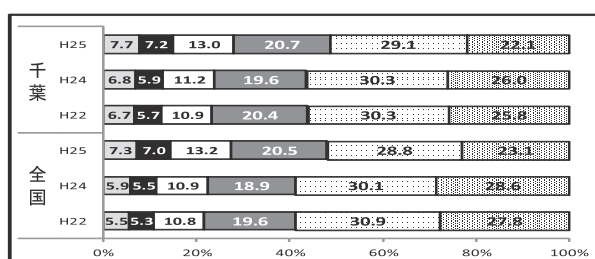
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

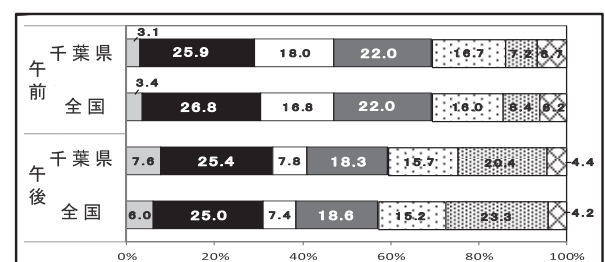


4時間以上
 2時間以上，3時間より少ない
 1時間より少ない
 3時間以上，4時間より少ない
 1時間以上，2時間より少ない
 全くしない

◇土曜日の午前（午後）は，何をして過ごすことが多いですか（新規）

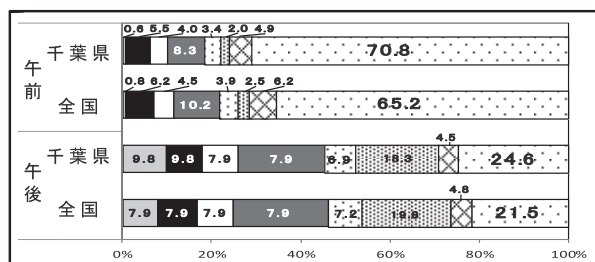
全般的には全国と同様の傾向がみられる。児童については，午前「習い事やスポーツ，地域の活動に参加している」割合が，午後「学習塾など学校や家以外で勉強している」割合が，全国と比べてやや高い。生徒については，午前午後ともに「学校の部活動に参加している」割合が全国を上回っている。

【平成２５年度調査結果（小学校）】



学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
 習い事やスポーツ，地域の活動に参加している
 家で勉強や読書をしている
 家でテレビやビデオ・DVDを見たり，ゲームをしたりしている
 家族と過ごしている
 友達と遊んでいる
 上記の選択肢以外

【平成２５年度調査結果（中学校）】



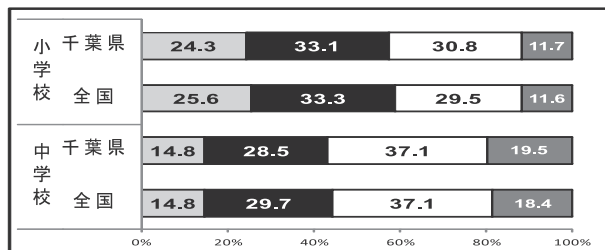
学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
 習い事やスポーツ，地域の活動に参加している
 家で勉強や読書をしている
 家でテレビやビデオ・DVDを見たり，ゲームをしたりしている
 家族と過ごしている
 友達と遊んでいる
 上記の選択肢以外
 学校の部活動に参加している

学習習慣

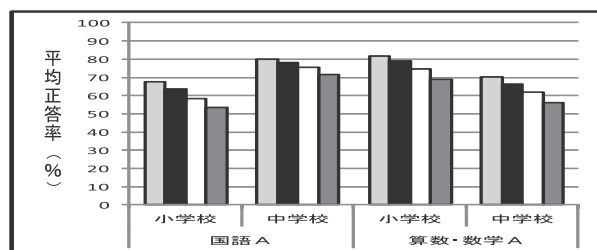
◇家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

児童生徒ともに、肯定的な回答の割合が全国と比べてやや低い状況が続いている。自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられることから、家庭と連携しながら、児童生徒の自主的・計画的な学習態度を育成する必要がある。

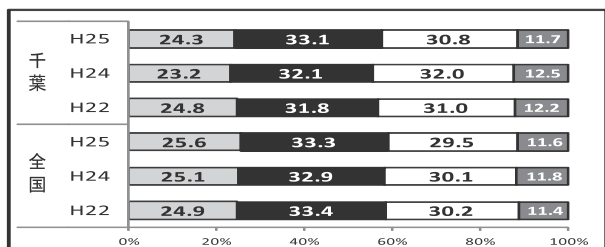
【平成25年度調査結果】



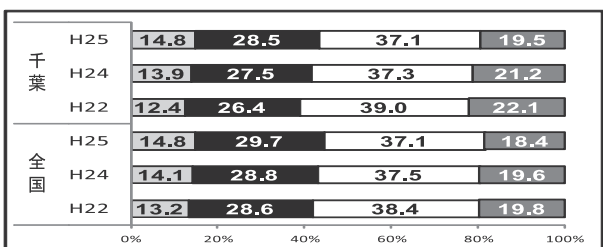
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

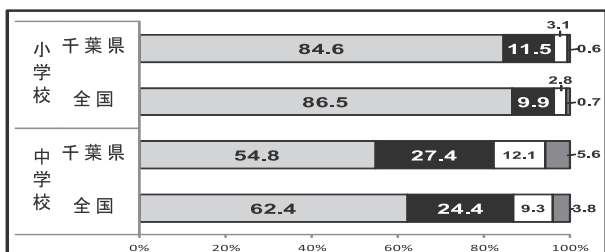


■している ■どちらかといえば、している □あまりしていない ■全くしていない

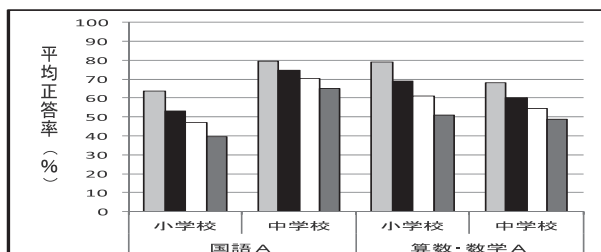
◇家で、学校の宿題をしていますか

肯定的回答の割合は、児童は全国と同程度であり、生徒は全国と比べてやや低いのが年々増加する傾向にある。宿題をしている児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられることから、宿題の内容や量などを見直し、効果的な宿題の与え方を工夫する必要がある。

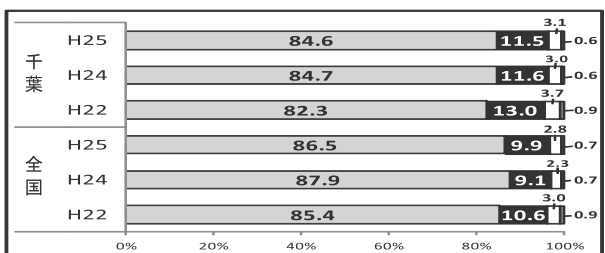
【平成25年度調査結果】



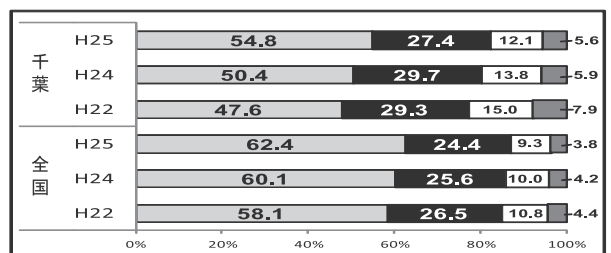
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】



■している ■どちらかといえば、している □あまりしていない ■全くしていない

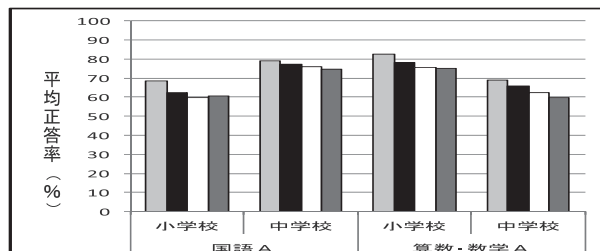
◇家で、学校の授業の予習をしていますか

児童生徒ともに、肯定的回答の割合は全国と同程度であり、生徒は平成 24, 25 年度と全国を上回った。予習をする児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられることから、授業内容について進んで予習に取り組む態度を育成する必要がある。

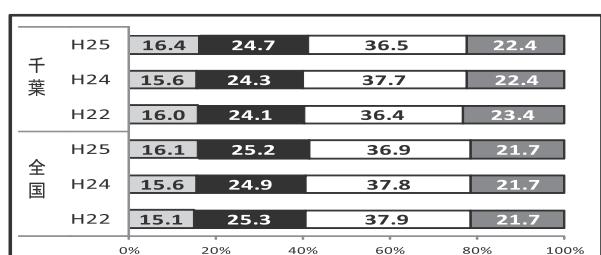
【平成 25 年度調査結果】



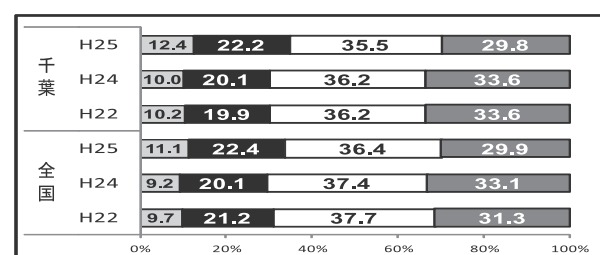
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

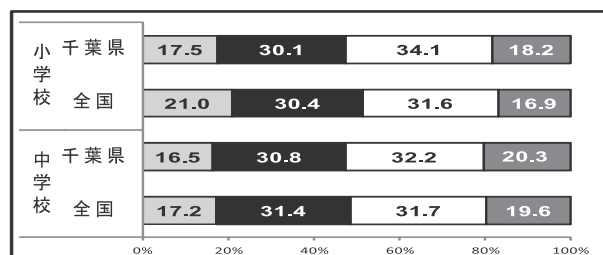


■している ■どちらかといえば、している □あまりしていない ■全くしていない

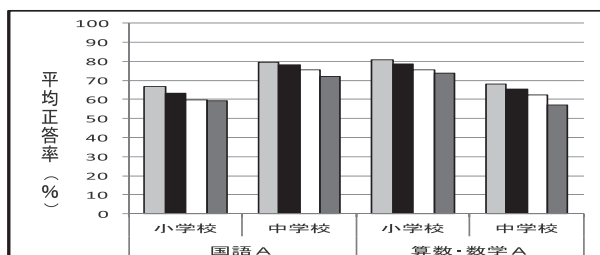
◇家で、学校の授業の復習をしていますか

児童生徒ともに、肯定的回答の割合が 50%に達しておらず、全国と比べてやや低い状況が続いている。復習をする児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられることから、学習内容の定着を図るため、確実に復習に取り組む態度を身につけさせる必要がある。

【平成 25 年度調査結果】



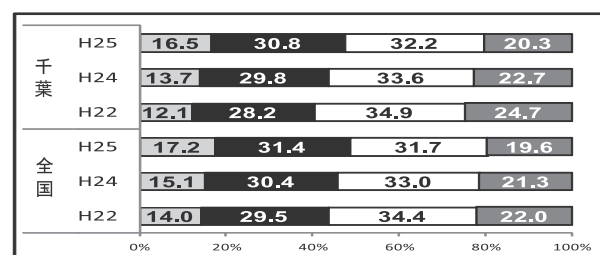
【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】



■している ■どちらかといえば、している □あまりしていない ■全くしていない

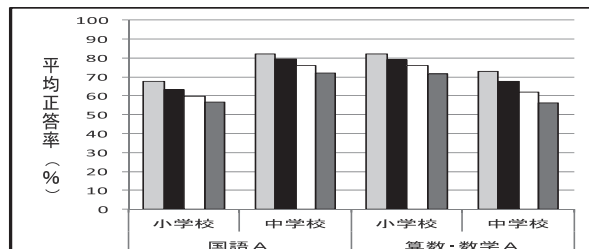
◇家で、テストで間違えた問題について勉強していますか（平成24年度は調査なし）

児童生徒ともに、肯定的回答の割合が全国と比べてやや低い。肯定的回答をした児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられることから、テストで間違えた箇所をもう一度学習したり、明らかになった自分の課題について取り組む態度を育成する必要がある。

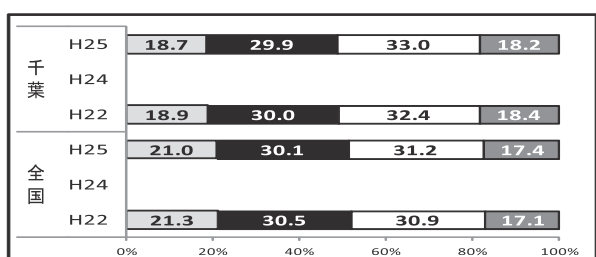
【平成25年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】

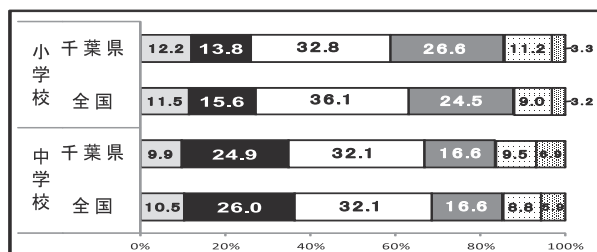


■している ■どちらかといえば、している □あまりしていない ■全くしていない

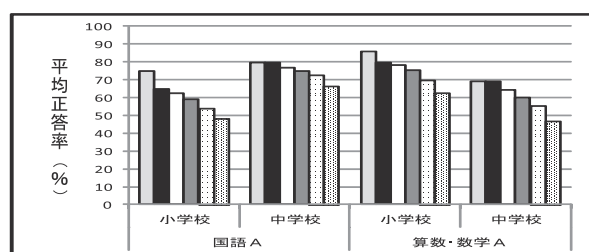
◇学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

1日当たり1時間以上勉強する児童生徒の割合は全国と比べてやや低いですが、年々増加する傾向にある。勉強時間が長い児童生徒ほど正答率が高いことから、さらに学習時間を増やすための意識づけを図り、児童生徒の家庭学習を充実させることが必要である。

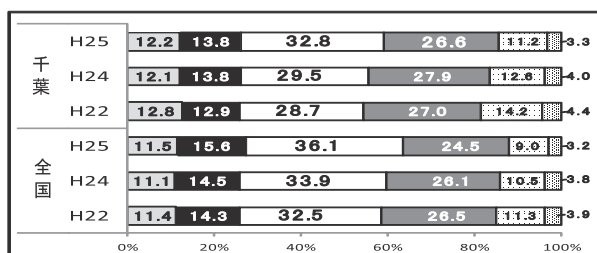
【平成25年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【経年変化（小学校）】



【経年変化（中学校）】



■3時間以上 ■2時間以上、3時間より少ない
 ■1時間以上、2時間より少ない ■30分以上、1時間より少ない
 ■30分より少ない ■全くしない

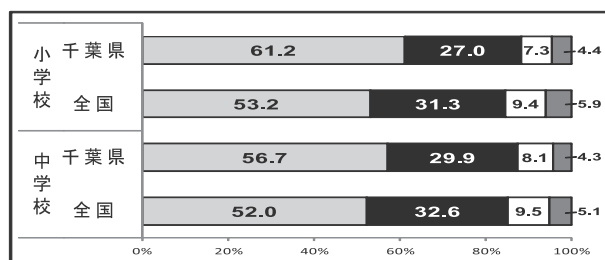
そ の 他

※全国学力・学習状況調査結果チャートには該当していないが、特徴のみられる質問事項を取り上げ分析した。

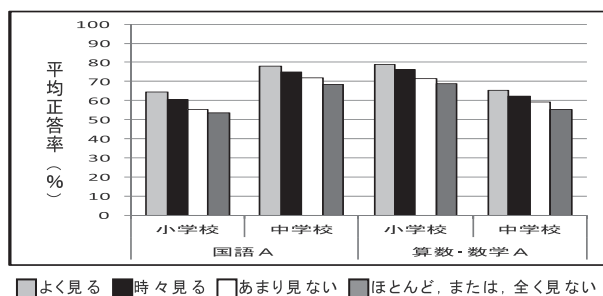
◇テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使う場合含む）（新規）

児童生徒ともに、肯定的回答の割合が全国と比べてやや高く、ニュースを見る児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられる。社会の出来事に関心を持つ子どもほど学習意欲が高いということが考えられ、今後も児童生徒の情報活用力を高める取組が必要である。

【平成25年度調査結果】



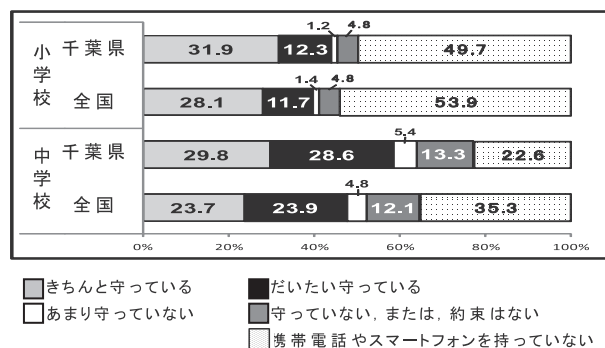
【回答結果と正答率の関連】



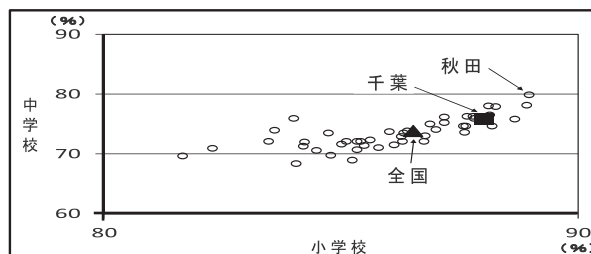
◇携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

児童生徒ともに、携帯電話やスマートフォンの所持率は全国平均より高いが、「約束したことを守っている」と回答した割合は全国的に見て上位にある。小中学生の携帯電話やスマートフォンに係るトラブルが増加する中で、好ましい状況といえる。

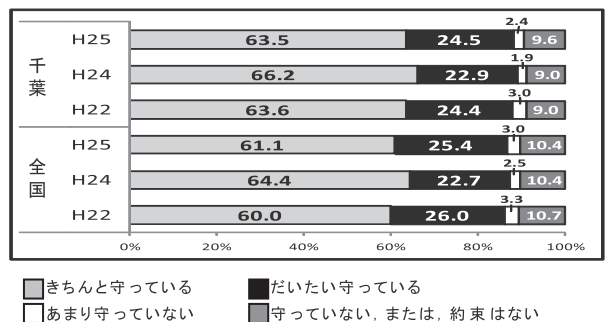
【平成25年度調査結果】



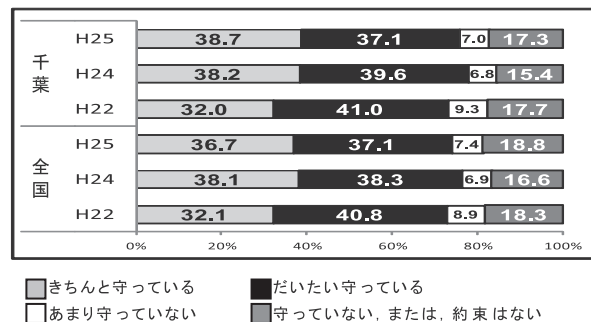
【散布図】



【経年変化（小学校）】

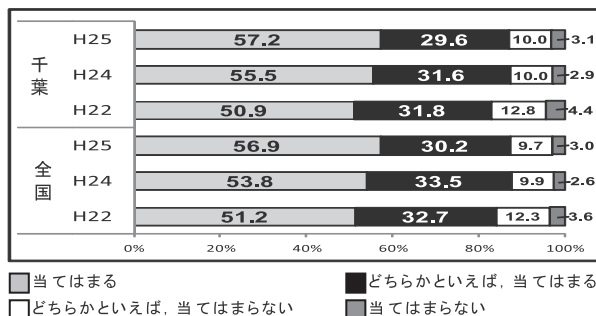
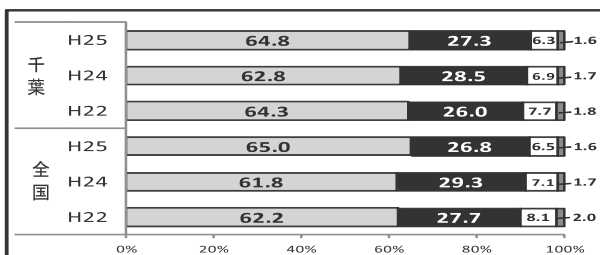
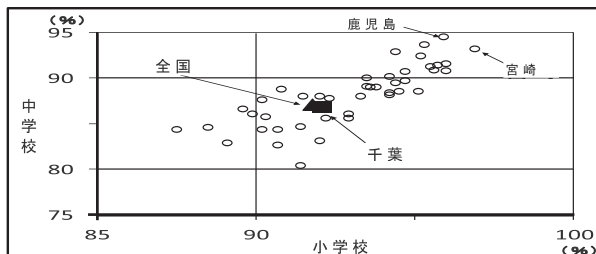
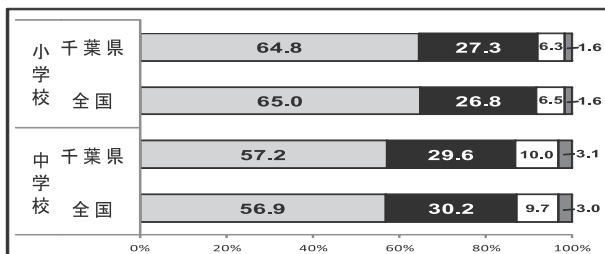


【経年変化（中学校）】



※「散布図」及び「経年変化」における数値は、「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した割合を除いて、全体を100として換算したものである。

児童生徒ともに、肯定的回答の割合は全国と同程度であり、児童のほうが生徒よりも高い。挨拶は人とのコミュニケーションの基本となるものであり、生徒に対して発達段階を踏まえながら意識づけを図る必要がある。



児童生徒ともに、肯定的回答の割合が全国と比べて低い状況が続き、生徒よりも児童にその傾向が強い。地域の人との関わりが思いやりのある子どもを育てるうえで有益であるという観点から、学校として地域行事への参加を促す働きかけも必要である。

